

【学校教育目標】

挑戦を楽しむ (Go for it !)

【研究主題】

「学びに向かう力」の育成  
～表現力を高める授業づくりを通して～

社会が大きく変化し、複雑で予測困難な時代になっている。このような中で学校教育には、子供たちが主体的に社会に関わり、多様な人々と力を合わせながら自らの可能性を発揮できるよう、他者と協働して課題を解決していく力や、知識や技能を組み合わせたり、情報を見極め再構成したりするなどして新しい価値を創造する力を育むことが求められている。また、子供たちが社会に出た際に、問題の解決に向けて目標を明確にし、紆余曲折があっても粘り強く取り組むことができるようになるために、自ら学習を調整していく力を育むことが大切である。

昨年度本校では、「学びに向かう力」の育成のために、各教科において生徒が対話を通して自分の考えを深め、課題を解決する授業改善を行ってきた。また、1年生から3年生までを縦割りのグループに分け、学年を越えてグループスピーチを行い、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるための活動にも取り組んできた。生徒が自分の考えを他者に伝え、協働することで、自己肯定感や学ぶ意欲の向上につながっていると考えられる。その一方で、自分の考えを積極的に伝え、表現する力に依然課題があると考えられる。以下は上下中学校アンケート（R7年3月実施）の結果である。

- (1) クラスやグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言している。
- (2) クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得するように考えて提案している
- (3) クラスの友だちや仲の良い友だちと意見が違っても、自分が正しいと思ったことは主張することができる。

主題設定の理由

(1) クラスやグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言している。



(2) クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得するように考えて提案している。



(3) クラスの友だちや仲の良い友だちと意見が違っても、自分が正しいと思ったことは主張することができる。



- 当てはまる
- ✕ どちらかと言えば当てはまる
- ✕ どちらかと言えば当てはまらない
- 当てはまらない

これらの結果から、自分の意見を積極的に相手に伝えようとする態度や、他者の意見と自分の意見を結び付けて、よりよい解決策を見出そうとしたり、考えを深めようとする態度に課題があることがわかる。以上のことから、研究主題を「『学びに向かう力』の育成」、副題を「表現力を高める授業づくりを通して」とし、研究を進めることとした。今年度は特に、以下の2点について重点的に取り組むこととする。

- 各教科における「表現力」の向上を図る授業改善
- 対話を通して考えを深める場の設定と問いの工夫

各教科においては、「表現力」をつけた生徒の具体的な姿を明確にもち、表現力の向上に向けて授業の工夫・改善をしていく。道徳では、対話を通して自らの考えを深め、それを互いに伝え合うことで考えを広げる活動になるように、問いを工夫した授業改善をする。また、総合的な学習の時間では、地域の資源を活用した体験的な授業を展開し、生徒が学校での学びを社会での活動に生かしたり、多様な人との対話を通して自らの将来について考えたりできる場を設定する。学級活動や行事においては、異学年で考えを伝え合う活動を設け、自分の意見や考えを自信をもって表現できる生徒を育成する。

研究の観	生徒が各教科で高めた表現力を生かして多様な人々と対話することを通して、生徒の考えが深まり広がれば、「学びに向かう力」が育まれ、これからの時代に求められる資質・能力を育み、主体的に活動できる生徒を育成することができるであろう。		
課題の両性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科等において、自己調整学習を基盤とした課題発見・解決学習を進め、表現力の向上のための授業改善を図る。</li> <li>○総合的な学習の時間を中心に、小中で連携し学習を進める。また、学校外との連携も図り、多様な人との対話を通して、学びの充実を図る。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・教職員への意識調査アンケートを行い、当初の調査結果と比較し、検証する。</li> <li>・授業での記述や作品、学習の振り返りから、生徒の変容をみとる。</li> <li>・各種学力調査の質問紙調査等から、成果を検証する。</li> </ul>		
	学園・学校行事	内容	
研究推進の計画と内容	4	・第1回上下学園全体会	・小中一貫教育研修（各部会）
	5	・特別支援教育研修	・校内研修
	6	・校内授業研修（3年生 道徳）	・校内授業研究
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下学園合同授業研修会（2日 上下南小学校3・4年生 道徳）</li> <li>・校内授業研修（9日 上下中学校3年生 道徳）</li> <li>・特別支援教育研修</li> <li>・第2回上下学園全体会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育研究</li> <li>・校内授業研究（宮里教授）</li> <li>・校内研修</li> <li>・小中一貫教育研修（各部会）</li> </ul>
	9	・校内授業研修（道徳）	・校内授業研究
	10	・校内授業研修（道徳）	・校内授業研究
	11	・上下学園合同授業研修会（12日 上下中学校2年生 道徳）	・小中一貫教育研究（宮里教授）
	1	・校内授業研修（理科）	・校内授業研究
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内授業研修（道徳）</li> <li>・上下学園合同授業研修会（5日 上下北小学校5年生 道徳）</li> <li>・特別支援教育研修</li> <li>・第3回上下学園全体会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内授業研究</li> <li>・小中一貫教育研究</li> <li>・校内研修</li> <li>・小中一貫教育研修（各部会まとめ）</li> </ul>
	3	・次年度研究推進計画策定	
備考	<p>◆校内研究授業のすすめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間を中心にカリキュラムマネジメントによる学びの充実を図る。また、ことば探究科では、自分の考えを論理的に表現できる力の育成を図る。</li> <li>・各教科において「自己調整学習」を基盤とした授業を展開する。</li> <li>・指導案づくり→指導案検討→模擬授業→授業研修→事後研修の5段階で研修を推進し、授業づくりについて共通認識をもって学びを深める。</li> </ul>		